

1 情報通信行政の改革

- [1] 通信・放送及びその隣接市場における横断的な市場分析・政策検討の実施
- [2] 横断的な電波の利用状況の調査・評価・提言機能の強化
- [3] 携帯電話用周波数割当てプロセスの見直し

(1) 情報通信行政の改革

①横断的な市場分析・政策検討の実施

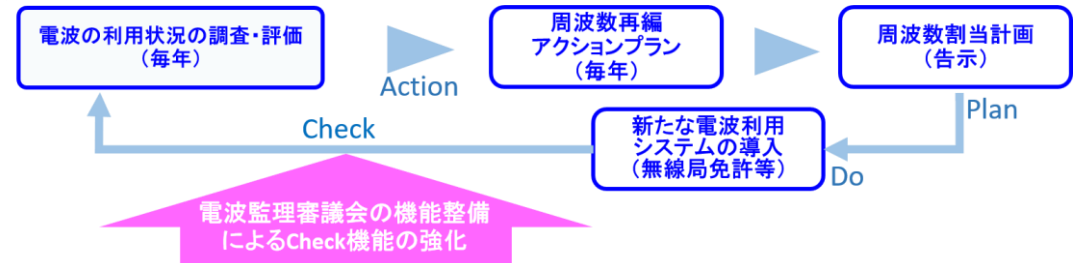
- 情報通信審議会情報通信政策部会に「通信・放送総合戦略委員会」（仮称）を設置。
- 横断的な観点から、通信・放送及びその隣接市場に関し、調査・分析し、今後の政策の方向性について提言*。

* コンテンツ・サービス、ネットワーク、端末の各レイヤ内及びレイヤを超えた市場、技術、利用動向等について調査・分析し、今後の政策の方向性について提言

②横断的な電波利用状況の調査・評価・提言の機能強化

- 分野横断的な周波数再編・共用等を推進するため、電波の利用状況調査について、電波監理審議会がヒアリング等を実施し、評価・提言できるよう機能強化。
- これにより、電波・放送行政の一層の透明性・公平性を確保。

【機能強化のイメージ】



③携帯電話用周波数割当てプロセスの見直し

- 携帯電話用周波数の割当てプロセスの抜本的な見直しの実現に向けて幅広く検討を実施。
- 再割当て制度の導入や、割当てプロセスにおける更なる経済的価値の反映等を推進。

1 情報通信行政の改革

[4] 情報通信分野における外資規制の在り方の見直し等に関する検討

（1）情報通信行政の改革（続き）

④ 外資規制の在り方の見直し等に関する検討

- 外資規制の実効性の確保や在り方の見直しが喫緊の課題となっていることから、令和3年6月14日から「情報通信分野における外資規制の在り方に関する検討会」を開催し、外資規制の担保措置や審査体制の強化などの論点について、法改正を視野に入れ、多角的な観点から検討を進め、年内に一定の方向性を整理した上で、必要な措置を速やかに講ずる。
- スマートフォンの普及や視聴スタイルの変化などによる放送を取り巻く環境の変化を踏まえ、通信・放送融合時代の将来的な放送制度の検討を行う。

主な検討事項（情報通信分野における外資規制の在り方に関する検討会）

- （1） 外資規制を適用する事業・分野
- （2） 外資規制の具体的内容
- （3） 外資規制の担保措置
- （4） 外資規制の実効性確保
- （5） 外資規制の審査体制